



白聖

はくあ 第12号 令和7年9月26日発行



《大学について学ぼう③ 科研費》

皆さんは「科学研究費助成事業」（以下、科研費）について詳しく知っていますか。科研費は、高校生の大学選びの際に、各大学の研究力に関する指標として示されることが多いものです。しかし、その内容について理解している人は多くないと思われます。そこで「大学について学ぼう」の3回目は、大学の教育や研究に欠かせない科研費について解説します。入試偏差値とは異なる観点で大学について理解を深めて、最良の志望校を決める際の参考にしてみてください。

全国の大学では、さまざまな研究活動が行われています。その研究に必要な資金の獲得には、学生数や教員数などに基づいて分配される基礎的経費（国立大学運営公費金や私立大学等経常費補助金の一般助成）と、大学や研究者が応募した研究課題に対して審査を経て助成される競争的資金の、大きく2つの方法があります。2004年の国立大学法人化などを機に基礎的経費が削減されていることから、競争的資金を獲得することが多くの大学の課題になっています。

科研費は、政府全体の競争的資金の5割以上を占める国内で最大規模の競争的資金制度です。研究者が応募した研究計画のうち、専門分野の近い研究者などによる厳正な審査を通過したものが採択されます。そのため科研費に多く採択された研究課題・研究者の多い大学は、独創的・先駆的な研究が盛んに行われているといえます。

科研費は、対象分野が固定的に捉えられることがないよう具体的な分野名は課さず、A～Kまでのアルファベット表記〈図表1〉としており、各区分は概ね下記のような研究に関連しています。

〈図表1〉

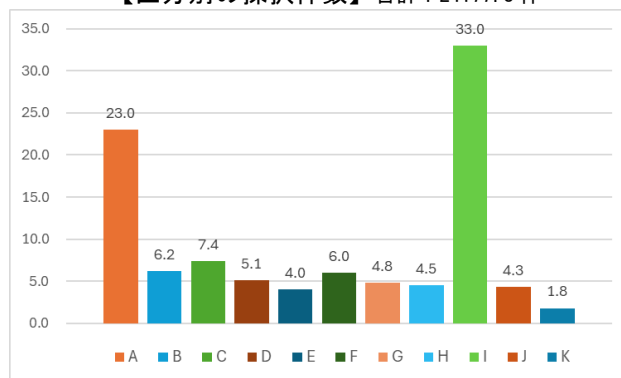
審査区分	関 連 分 野
A	人文学・社会科学関連
B	数物系科学関連
C	工学（機械、電気電子、土木等）関連
D	工学（材料、ナノ、応用物理等）関連
E	化学関連
F	農学関連
G	生物学関連
H	薬学関連
I	医・歯学関連
J	情報学関連
K	環境学関連

令和6年12月に文部科学省研究振興局が公表した「令和6年度科学研究費助成事業の配分について」から、科研費の現状を見ていきましょう。

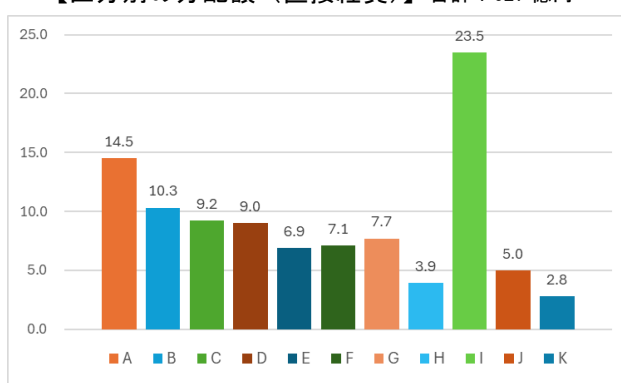
〈図表2〉は、令和6年度の新規採択件数と配分額を審査区分別に示したものです。これを見ると、区分（医・歯学関連）が採択件数で33.0%、配分額で23.5%と最多となっています。一方で、区分A（人文学・社会科学関連）では採択件数で23.0%、配分金で14.5%に留まっており、科研費は理工農学や医療系の研究に多く配分されていることが分かります。

〈図表2〉

【区分別の採択件数】合計：24177.8件



【区分別の配分額（直接経費）】合計：627億円



研究機関種別の状況を見ると、令和6年度の新規採択件数は、国立大学51.2%、公立大学7.8%、私立大学29.4%、その他（国立研究開発法人、大学共同利用機関法人、短期大学、高等専門学校など）11.7%と、国立大学が半数以上を占めています。さらに配分金は、国立大学60.5%、公立大学5.9%、私立大学20.5%、その他13.4%と、国立大学が6割となっています。

（裏面へ続く）

また、令和6年度に科研費が採択された研究者が一人以上いる機関を、採用件数・配分額の順に並べて一覧で示したもののから上位30機関を抜粋したものが〈図表3〉になります。これを見ると、上位には医学系や理工系の研究所等を持つ大学が並んでいます。また、上位7機関は旧帝国大学であり、全体の採択件数の21.1%、配分金の34.1%を旧帝国大学が占めています。

設置者別に見ると、上位30機関は国立大学が大半であり、私立大学は慶應義塾大学（12位）、早稲田大学（13位）、立命館大学（22位）、日本大学（23位）、近畿大学（28位）の5校、公立大学は大阪公立大学（16位）、名古屋市立大学（27位）の2校となっています。

〈図表3〉 【研究機関別採択件数・配分一覧】

順位	設置者	機 関 名	採択件数	金額（千円）
1	国立	東京大学	3,965	20,591,030
2	国立	京都大学	2,903	14,502,930
3	国立	大阪大学	2,547	10,219,690
4	国立	東北大学	2,281	9,780,763
5	国立	九州大学	1,892	6,867,510
6	国立	北海道大学	1,678	6,299,930
7	国立	名古屋大学	1,663	7,415,590
8	国立	筑波大学	1,327	4,362,846
9	国立	広島大学	1,137	2,970,370
10	国立	神戸大学	1,130	3,056,040
11	国立	岡山大学	1,060	2,867,930
12	私立	慶應義塾大学	1,034	3,652,223
13	私立	早稲田大学	994	2,808,701
14	国立	千葉大学	944	2,692,040
15	国立	金沢大学	919	2,263,613
16	公立	大阪公立大学	903	2,177,890
17	国立	東京科学大学	834	4,527,770
18	私立	順天堂大学	772	1,644,760
19	国立	新潟大学	735	1,759,435
20	その他	理化学研究所	727	2,346,898
21	国立	熊本大学	695	1,831,820
22	私立	立命館大学	669	1,603,160
23	私立	日本大学	662	1,068,470
24	国立	長崎大学	657	1,440,660
25	国立	信州大学	563	1,019,720
26	国立	鹿児島大学	512	938,860
27	公立	名古屋市立大学	481	985,010
28	私立	近畿大学	465	910,260
29	国立	山口大学	456	907,010
30	国立	徳島大学	455	1,049,100

東北大学は、約98億円の科研費を得ていますが、令和6年11月に「国際卓越研究大学」として文部科学大臣より認定されました。これにより令和6年度は約154億円の助成額が入ることになりました。そうすると今後、東北大学は無理して競争的資金獲得に奔走せずとも潤沢な研究費用を確保できるため、科研費配分額が減る可能性もあり、他大学の動きにも影響が出てきそうです。

科研費は、個々の研究者に対して研究費が配分されるため、研究者が異動した場合は、大学別の採択件数・配分額ともに大きく変動する場合があります。また、研究者は大学院や附属研究所に所属し、学部生の教育等に関わっていない場合もあります。そのため科研費は大学の教育水準などを示すものではなく、研究の現状を見る際の指標の一つであることに注意してください。

科研費は、採択件数・配分額ともに旧帝国大学が上位を占めていますが、分野別で見えていくと特色ある大学も見えてきます。入試偏差値でみるとそれほど難易度に差が見られない大学群でも、科研費の採択件数や配分額には大きな差が見つかるかもしれません。興味のある学問分野がある生徒は、大学選びに活用できる情報になりますので、是非とも自分で調べてみてください。

【河合塾 Guideline より引用・抜粋】

《職員室前の掲示板を確認しよう》

3階職員室前の廊下には色々なポスターやチラシなどを掲示しています。意識しなければ、何も知らないまま素通りしてしまうかもしれませんが、そこは皆さんの将来の可能性を伸ばしてくれる各種イベントの案内や情報が集まっています。各種技能検定やボランティア活動の紹介、大学の公開講座や海外フィールドワーク参加募集など、皆さんの知的好奇心を刺激する取り組みが目白押しです。これからの活動に興味・関心はありませんか。

高校生活で毎日の勉強や部活動に精を出すのは当たり前かもしれません。しかし、皆さんが持っている様々な資質や能力を発揮する場所は、何もそれだけではないはずです。校外の多様な活動に励むことで、学校生活の中では学ぶことができない貴重な体験をすることもあろうし、それがきっかけで進路目標を見つけるものかもしれません。また、大学入試で募集枠が増えている学校推薦型・総合型選抜へ向けた実績にも繋げられるかもしれません。是非とも積極的に活用して、自身の進路選択や可能性を伸ばすために役立ててください。

